



二小建替えだより

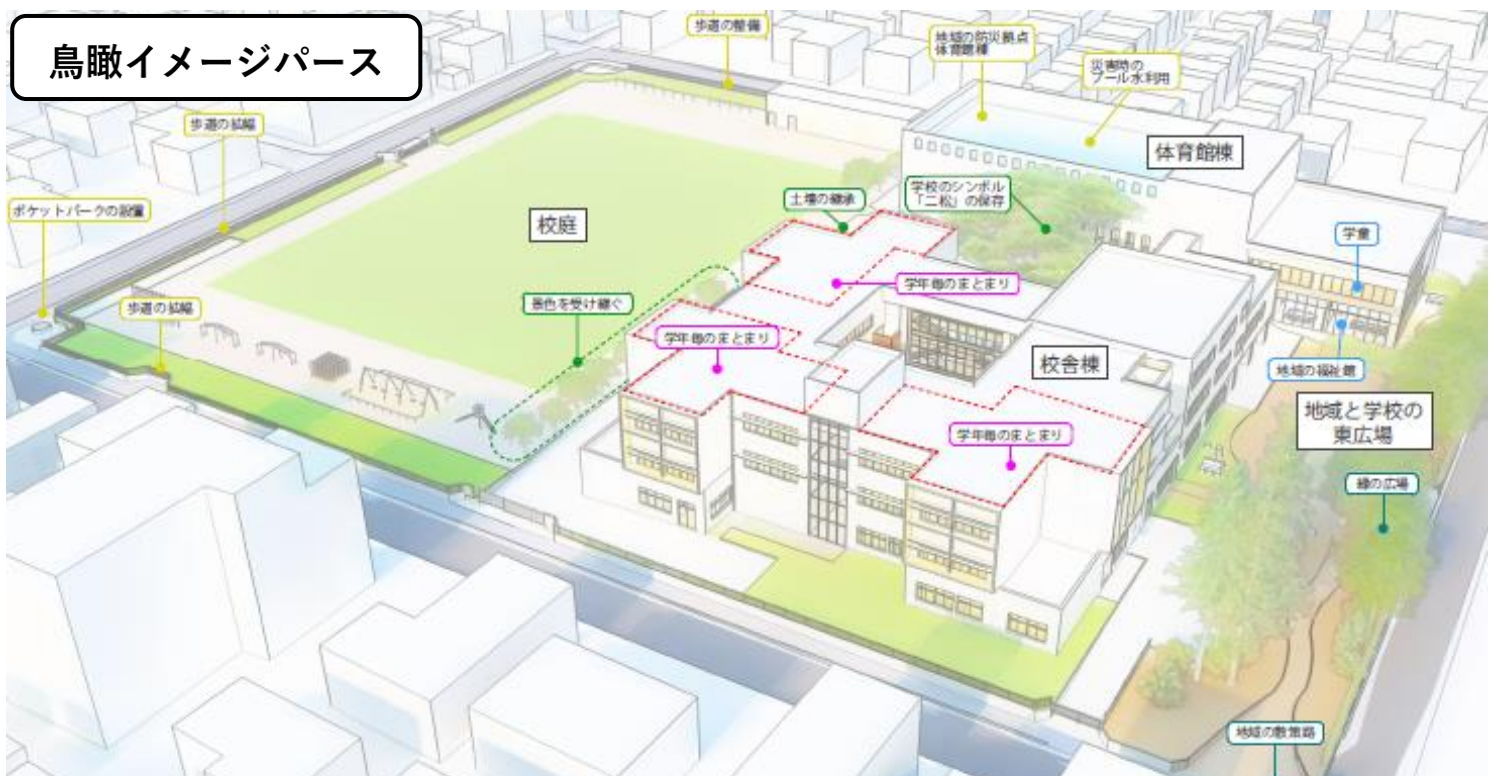
第1号

新しい国立第二小学校の計画の検討状況をお知らせします

このお知らせについて

国立第二小学校は1963（昭和38）年に建設され、築後59年が経過しており、老朽化が進んでいることから、建替え工事を予定しております。この「二小建替えだより」では、新しい二小の注目ポイントや建替えの進捗状況について、保護者のみなさまや地域のみなさまにお知らせさせていただきます。

鳥瞰イメージパース



新しい二小は、南側（パース下側）のロの字型の建物は校舎棟、北側（パース上側）の建物は体育館棟（体育館・プール・学童保育所・地域コミュニティ施設）、敷地の西側一面が校庭になっています。また、敷地の外周には十分な幅員を確保した歩道を整備し、児童の登下校の安全を確保します。これまでの経緯や資料等は市ホームページ（右記 QR コード）でもご覧いただけますので是非ご覧ください。



二小建替え延期の経過について

国立市教育委員会では、国立第二小学校の建替えに当たり、学校関係者や保護者、地域の方々と行政・識者により構成された第二小学校改築マスタープラン連絡協議会において、建替えのプランを検討し、皆様よりいただいたご意見を踏まえ設計業務を行ってまいりました。

しかしながら、校門の設置箇所などの外構計画について、教育委員会から学校の近隣住民の方々への情報提供とコミュニケーションが十分にできておりませんでした。また、マスタープラン策定時には存在していなかった北門の新設計画について、子どもたちの安心・安全確保の観点から廃止を目的とした陳情が市議会に提出されました。

教育委員会ではこのことを重く受け止め、住民の方々と継続して協議を行いました。結果、北門の廃止を含む新たなプラン等について令和4年6月3日付けで合意し、陳情の取り下げをいただきました。

また、新たな国立第二小学校のバリアフリー対応として、各階への車いす対応トイレの設置、エレベーターの設置、段差の解消等に配慮した設計などを含めた学校施設整備に努めてまいりましたところ、市内のしょうがいしゃ団体よりスロープを設置してほしいとのご意見をいただきました。

教育委員会において、学校関係者及び他のしょうがいしゃ団体とも意見交換を行い、しょうがいの有無にかかわらず子どもたちが共に移動できる施設を整えることで交流が増え、会話や助け合いを通じて人と人との相互理解を深めることにより、国立市教育大綱が示す「しょうがいのある児童・生徒もしょうがいのない児童・生徒も同じ場で共に学び、相互に成長できるフルインクルーシブ教育を目指す。」という理念の推進を図るため、校舎屋内にスロープを設置する方針といたしました。

以上の理由により、今後も住民の皆様との良好な関係の下に地域とともにあり、フルインクルーシブ教育の推進を図る学校を整備するため、現在の設計内容を修正する必要があることから、建て替え工事の着手を延期し、下記のスケジュールで工事を行う予定です。

二小建替えのスケジュール概要（予定）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ・令和4年7月～令和4年12月 | 設計業務 |
| ・令和5年1月～令和5年3月 | 工事契約手続き |
| ・令和5年3月～令和6年12月 | 校舎棟建設 |
| ・令和6年12月 | 冬休みを利用し、旧校舎から新校舎への引越 |

発行・お問合せ

ご質問・ご意見などございましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

国立市教育委員会 教育部 教育総務課 教育施設担当

電 話：042-576-2111(代表) 内線 325 メール：sec_kyosomu@city.kunitachi.lg.jp